

研究課題名	心室中隔穿孔に対する外科治療の臨床成績の後ろ向き検討 A retrospective analysis of clinical outcomes in patients with surgical repair of ventricular septal perforation: (SYRUP) registry
研究期間	実施許可日（2025年3月25日）～2029年12月31日
研究の対象	2014年1月～2023年12月の間に広島大学病院心臓血管外科または共同研究機関で急性心筋梗塞に伴う心室中隔穿孔に対して外科的な治療を受けられた成人の方
研究の目的・方法	研究目的：急性心筋梗塞は血管内治療および外科的血行再建の進歩により救命できる可能性が大きくなりました。しかしながら急性心筋梗塞に伴う心室中隔穿孔は、全心筋梗塞の約2%に合併するとされ、血管内治療は困難であり、外科的治療も良好とはいえません。臨床成績の向上のため術式の工夫や補助循環装置の導入など、様々な試みが試されているが、確立した治療法はいまだありません。今回われわれは、広島県内の8施設で急性心筋梗塞に伴う心室中隔穿孔に対して外科的治療を行った症例を後ろ向きに検討させていただきます。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、心室中隔穿孔に対する外科手術の臨床成績（在院死、入院中の心血管イベント、遠隔生存、遺残シャントの有無、再治療の有無）について検討します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、病歴、画像検査結果、カテーテル検査所見、術後情報、遠隔期情報等
外部への試料・情報の提供	NTT のデータ送信システムを使用して、ファイルメーカー形式のデータを、広島大学と共同研究施設において、WEB システム上で共有するため、外部への資料提供を行いますが、パスワードロックを使用し、特定の関係者以外がアクセスできない状態でシステムを用いて行います。データは広島大学病院および共同研究機関で共有し、解析を行います。
利用または提供を開始する予定日	当院許可日（2025年3月25日）
個人情報の保護	情報を提供する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、個人の識別ができないよう加工した上で提供します。個人と連結させるための対応表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科 外科学 教授 高橋 信也 当院の研究責任者 県立広島病院 心臓血管外科 児玉 裕司

	<p>研究機関の長 県立広島病院 院長 板本 敏行</p> <p>共同研究機関 広島市立広島市民病院 心臓血管外科 部長 田村健太郎 広島県厚生農業協同組合連合会広島総合病院 心臓血管外科 主任部長 小林平 医療法人あかね会土谷総合病院 心臓血管外科 部長 古川智邦 県立広島病院 心臓血管外科 部長 児玉裕司 独立行政法人国立病院機構東広島医療センター 心臓血管外科 江村尚悟 広島市立北部医療センター安佐市民病院 心臓血管外科 副部長 橘仁志 医療法人財団竹政会福山循環器病院 心臓血管外科 病棟医長 二神大介</p>
<p>その他</p>	<p>なし</p>
<p>研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先</p>	<p>研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>県立広島病院 心臓血管外科 児玉 裕司 〒734-8530 広島市南区宇品神田 1-5-54 TEL：082-254-1818 FAX：082-253-8274</p>